

2021年 春:第1号

交通安全NEWS

発行:三菱電機人事部
発行日:2021.4.7
作成:三菱電機保険サービス

20年度、自転車通勤時の通勤災害が**11件**発生しています。
自転車による加害・被害・自損事故防止のために、
再度交通ルール・マナーを確認して、実践しましょう！

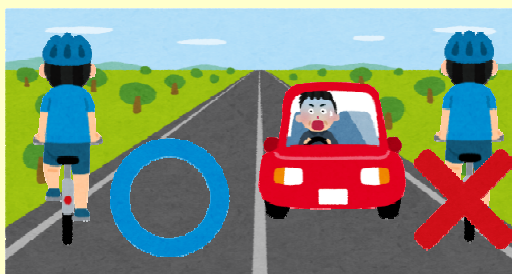
● 交通ルールを守って安全に走行しましょう。

車道と歩道がある道路では原則として、**車道を通行**しなければなりません。

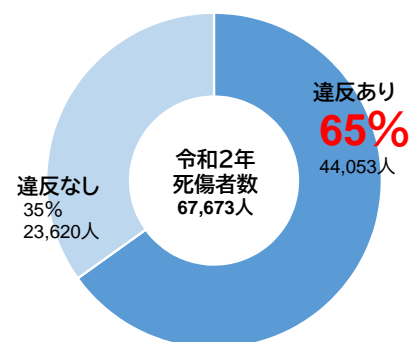
道路交通法上、一部の例外を除き、**自転車は軽車両**と位置付けられています。歩道と車道の区別があるところは、**車道通行が原則**です。
【道路交通法第17条】

車道を通行するときは、**左側を通行**しなければなりません。

道路(車道)の**中央から左の部分**を通行しなければなりません。
【道路交通法第17条】



自転車関連交通事故死傷者の法令違反



警察庁「令和2年中の交通事故の発生状況」から集計

事故死傷者の65%が法令違反をしています。
交通ルールを遵守しましょう！

歩道は**歩行者優先**で車道寄りを**徐行**しなければなりません。

自転車は歩道の中央から車道寄り部分を徐行しなければならず、歩行者の通行を妨げるときは、一時停止しなければなりません。 【道路交通法第63条の4】

安全ルールを守りましょう。

- ・飲酒運転・二人乗り・並走の禁止
- ・夜間はライトを点灯
- ・**交差点での信号遵守**と一時停止・安全確認
- ・**ながらスマホ**、傘さしの禁止



● 所属事業所のルールに沿って自転車損害賠償責任保険等に参加下さい。

自転車による事故でも、運転者に多額の賠償責任が生じる可能性がありますので、損害を賠償するための保険等に参加するようにしましょう。
被害者救済の観点から、条例にて**保険加入を義務化**する自治体が増えています。

【義務化されている自治体】

宮城県、山形県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、愛媛県、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、千葉市、岡山市

国土交通省「自転車損害賠償責任保険等への加入促進について」(令和3年4月1日現在)

※会社の制度である「三菱電機グループ保険」で準備できます。【相談窓口:最寄りの三菱電機保険サービス(MEIS)】